

青年部が総反撃の最先頭に

日刊 勤労千葉

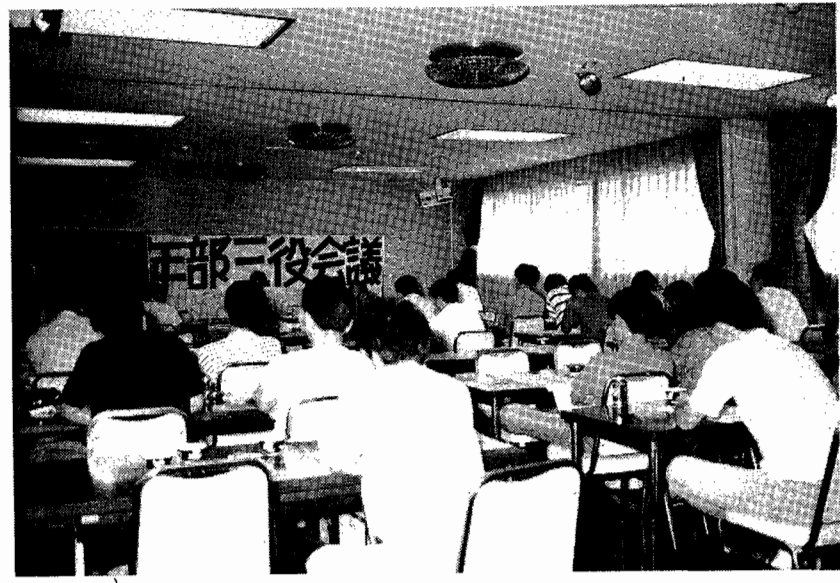
87. 7. 29 No. 2614

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五、六（公衆）〇四七二二、二七二〇七

青年部三役会議開催 7/26 青年部スト権100%達成へ！

七月二六日、青年部は、千葉市民会館において、青年部三役会議を四〇名の結集をもって開催し、当面する出向攻撃に対して青年部は、闘いの先頭に立ち、総反撃にうって出ることを確認した。



講演に聞きいる各支部青年部代表

それは、戦後世界経済の中心であったアメリカ経済の没落によって発生したものだ。アメリカは保護主義に踏み切り、輸出で成り立ってきた日本経済は「壊滅的打撃」をうける。これは、今後、大不況、大量失業時代へと突入する。この時、労働者は、資本と不屈に闘い、帝国主義そのものを、抜本的に変革する闘いに立ちあがる必要がある。よ。動労千葉が不屈に闘うならば、日本の労働運動はさらに発展するだろう、と今日の出向攻撃を考える意味で貴重な講演であった。

強固な団結で闘いぬく

昼食後、布施書記長から「4・1以降、配転、差別攻撃が一方的にかけられてきたが、出向攻撃に対するストライキを基軸に総反撃体制を創りあげなければならぬ。その先頭に青年部が起ってほしい」と檄が寄せられた。

そして、青年部常任委員会より方針が提起され出向攻撃に対するストライキ体制強化へ向けてあらゆる抵抗闘争、宣伝活動を展開する。青年部スト権一〇〇%確立へ向け、当面八月五日に、青年部全支部交流会を津田沼支部組合事務所で開催することを決定した。

これを受けて各支部より報告や意見が出され、営業へ配転された仲間には小集団を拒否し、ネクタイピンを着けて差別を恐れず頑張っている。清算事業団では、三回にわたる再就職の教育を拒否している。

スト権一〇〇%達成へ向け全力で奮闘する、など多くが出され、強固な団結で闘いぬくことを全体で確認し、杉本青年部長代行による団結ガンバローで三役会議は成功裡に終了した。

8・5青年部全支部交流会を成功させよう。

差別を恐れず反撃へ

永島書記長代行のシュプレヒコールで会議が始まり、まず動労千葉本部田中特執より、「われわれは『4・1分割・民営化』を強行した中曾根の狙いを粉碎した。その上で、当面する出向攻撃に対しては腹を固めて反撃しよう。その時、五%カットや差別を恐れることなく全員で反撃しよう」と挨拶をうけた。

続いて、「三〇〇万失業時代と労働者—経済危機の中でどう闘うか」の講演をうけた。

大量失業時代へ突入した日本

すでに、日本は戦後最高の失業率に達しており、出向も労働省調べで八六年度十五万人、総数で五七万人が行かされている。さらに、今後七年で第二次産業全体で二二〇万人の離職者が発生する。なぜこんなことが起こるのか。

青年部全支部交流会
とさ 〇月〇日・18時より
とさ 津田沼支部組合事務所

全組員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！